

自昭和十九年十一月二十日
至昭和十九年十一月二十九日

但シ最初一週間ハ官民側ノ基礎訓練期

間トシテ八九日綜合演習ヲ実施ス

二 場所

謝花校ヲ中心トスル地區

但シ實戰ノ場合統裁部ハ戰鬥指揮所

ナルモ本演習ハ官民ノ指導ヲ重クトス

ルヲ以テ特ニ統裁部ハ謝花高地ニ設置ス

四 指導要領

第一期(四日間)

主トシテ官民側ノ基礎訓練期間

1. 編制 裝備

2. 防衛隊 警防團ノ基礎訓練

3. 救護班ノ基礎訓練

第二期(三日間)

主トシテ官民側ノ応用訓練期間

1. 防衛隊警防團ノ指揮連絡要領及

民衆指導要領

2. 一般民衆ノ避難要領

3. 救護班ノ救護要領
第三期(三日間)

綜合訓練期間トス

- 1. 對空警戒要領
- 2. 對空襲行 動

以上各項目ニ亘リ綿密ナル指導ヲ以テ

本演習ノ成果獲得ニ勉ム

二十八・九兩日ノ作業及民間側ノ生業ハ之

ヲ中止ス

五 編成及裝備

1. 統裁部

統裁官

大隊長 野崎大尉

副官

水野少尉

部附

御子神大尉

全

高木註中尉

全

松尾中尉

全

各隊小隊長

全

雨宮軍曹以下

二十名

全 全
防衛小隊長
各警防團長

2. 隸下部隊

省 署

3. 防衛隊

小隊長 仲間宗助(予步上)以下三名
副隊長 仲村実忠(予輜)

謝花 介隊長 長 仲村実忠 以下 一八名(三ヶ班)
洪元 介隊長 長 小洪源勇 以下 一八名(三ヶ班)
北里 介隊長 長 金城伝郎 以下 一四名(三ヶ班)

浦崎 介隊長 長 仲宗根忠得 以下 六名(一ヶ班)
吳表 介隊長 長 棚原正男 以下 五名(三ヶ班)
豐原 介隊長 長 浦崎直徹 以下 三名(一ヶ班)
新里 介隊長 長 上間孫吉 以下 二名(一ヶ班)
備瀬 介隊長 長 兼次長完 以下 二名(一ヶ班)
石川 介隊長 長 平安山良政 以下 二名(一ヶ班)
嘉津宇 介隊長 長 古波藏長吉 以下 八名(一ヶ班)
山川 介隊長 長 平安山良豊 以下 八名(一ヶ班)

裝備
偽銃 銃劍 手榴彈部 竹槍 全員

4. 警防團

團長 貝志堅 巖 以下 一七九名
副團長 謝花喜秀 以下 一六名

別働隊（地方医働）

担架 二組（五名）

裝備

担架 一三個 糊帶 各人一個

応急處置用藥物若干

六 観

令

喇叭及傳令

演習開始

赤 旗

燒夷彈落下箇所

黄 旗

爆彈落下箇所

藍 旗

機銃掃射

煙及赤 旗

火災生起

芋蔓腕章

患者

石灰撒布

道路破壊

自轉車自復係用

飛行機飛來

黃 龍

警戒警言報發令

赤 吊 星

空襲警言報發令

喇叭及傳令

演習終了

七 想

定

ニミッツノ率キル敵アメリカ第五艦隊及
 マツカパーサーノ率キル第三七艦隊ハ過
 般ノ我猛攻ニヨリ徹底的打撃ヲ受ケテ以
 來各々ソノ基地ニ於テ著々次期作戰ヲ準
 備中ニシテ新ニ本國ヨリ派遣セラレタル
 新銳艦艇ノ補充ヲ完了セルモノノ如クソ
 ノ勢ハ輕視ヲ許サズ
 一亦在支米空軍ノ勢力ト頓ニ活氣ヲ呈シ

B29ノ増強ト相俟テ北九州及台湾地區ヘノ
來襲ハ最近頻々ト行ハレアリ

二十九日〇七三〇我陸軍司偵ノ通報ニヨ
レバ B29ヲシキモノ約三十機温州上空ヲ東
進セリ 更ニ海軍機ヨリノ通報ニヨレバ
台湾東方約五百料ノ海域ニ於テ有力ナル
敵機動部隊北上中ナリ

八 指導 著 眼

第一狀況

〇八二〇 南西地區警戒警報發令
著 眼

1. 防衛隊 警防團ノ緊急集合
2. 監視哨立哨動作

第二狀況

〇九〇〇 空襲警報發令 今時刻伊江島
上空ニ B29 數機侵入スルヲ發見

著 眼
民衆避難動作

第三狀況

○九一五

敵大型機五機 備瀬上空ヨリ
侵入 林原 謝花地區 一帯ニ爆弾
燒夷彈落下シ 炸烈音響々々リ

著眼

1. 一時待避ノ要領
2. 對空監視及指揮連絡ノ要領
3. 對空射撃部隊ノ動作

第四狀況

○九二〇

謝花校ヲ中心トスル一帯ニ
火災發生 謝花浦崎地區ニ
死傷者數名出ス

著眼

1. 家庭防火群ノ消火動作
2. 防衛隊 警防團 青年團ノ動作
3. 救護班ノ動作

第五狀況

○九二〇

敵大型機十數機 且志堅上空

空ヨリ侵入入堂原 謝花高地
附近ヲ旋回反復爆撃ス

著 眼

1. 指揮連絡ノ確保
2. 對空射撃
3. 救護班ノ機宜ニ適スル動作

第六狀況

一〇〇〇 敵機上空ニナシ

著 眼

1. 消火動作
2. 患者收容
3. 緊急復旧工事

第七狀況

一一〇〇

敵艦載爆撃機約三十機渡久地
方ヨリ侵入濱元浦崎謝花備
瀬具志堅今泊入堂原此區ヲ反
復銃爆撃ス

著 眼